

本競技大会における参加資格の特例（追加）について

10 申 込

(1) 参加資格

- ① 選手は(公財)日本水泳連盟競技者登録2020年度完了者であること。
- ② 選手が所属する団体も同様に団体登録が完了していること。また、高校生資格でエントリーする者も、所属する高校の団体登録が完了していることを要す。
- ③ 2019年4月1日以降の公式・公認競技会において、別添の参加標準記録（高校生は「第73回北海道高等学校選手権水泳競技（競泳）大会」を参照すること）を突破（同タイムでもよい）した者は、その種目（距離）に限り申し込むことができる。また、50mプール(長水路)・25mプール(短水路)それぞれでの記録とする。（最高記録で申し込むこと）
- ④ リレー種目については、個人種目出場者で編成すること。
- ⑤ 参加資格の特例
  1. 北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校の生徒で、第73回北海道高等学校選手権水泳競技(競泳)大会要項で参加資格を得た者の参加を認める。
  2. 2019年度第72回北海道高等学校選手権水泳競技（競泳）大会にエントリーした者は、同一種目（同距離）に限り出場を認める。
  3. 2019年度第59回全国中学校水泳競技大会エントリーした者は、同一種目（同距離）に限り出場を認める。
  4. 個人種目とリレー種目は、それぞれ第一区分・第二区分を選択することが出来る。  
例：個人はクラブで参加リレーは学校で参加するなど、2所属からの参加を特別に認める。
  5. リレー競技は、4人の公認記録の合計を認める。（長水路・短水路の混合記録は認めない）
  6. 競技区分が11～12歳の中学1年が、2019年4月1日～本競技会エントリー締切日までの公認・公式競技会において、第60回全国中学校の400m自由形・200m背泳ぎ・200m平泳ぎ200mバタフライ・400m個人メドレーの標準記録を突破した場合は、その種目に限り11～12歳区分でのエントリーを認める。ただし、表彰の対象外とする。  
なお、この種目の全国通信大会へのエントリー方法は以下のとおりとする。

<全国通信大会へのエントリー方法>

- ① JO通信大会は、中学校または第二区分の登録団体からエントリーする。
- ② エントリー区分はCS区分で、エントリータイムはCS区分標準記録を突破していない場合はCS区分標準記録を入力する。
- ③ 中学通信大会は、中学校からエントリーする。

※中学ランキングのみ対象となり、JOについては対象外のため選手リストには掲載されない。